Lección 17

ばらし

▼ チャランゴでよく使うテクニックで「ばらし」というものがあります。

▼ ダウンストロークをする際に各指をまとめて下ろすのではなく、小指から順番に開いていくようにしてジャラララララと「ばらし」ながら下ろすテクニックです。

▼ 小節の頭に勢いをつけるために使うことが多く、ばらしの最後に人差し指が抜ける瞬間がインテンポ（拍の頭）になるようにばらします。このタイミングがずれてしまうと勢いがつかず、リズムがよれたようになってしまうので気を付けましょう。

▼ また、これを使いすぎるとリズムが重くなりがちなので使う頻度とばらす強さに注意しましょう。時々自分の演奏を録音したりして客観的に聞いてみるのも効果的です。

ばらしの練習

1. 初動は普通のダウンストロークと一緒
2. 手首は５コース上あたりで動きを大幅に緩めると同時に小指から順番にダウンしていく
3. イメージとしては小指でダウンし終わる頃に薬指が動き出し、薬指が抜ける頃に中指、その後人差し指というイメージ(あくまでイメージ)

入りは普通のダウンストローク

少し指を広げてダウン

4. 実際にはそこまで広げず雪崩込むようにばらしていく

5. 人差し指がダウンする時に手首も下へ向かう

6. 実際にはばらし方には加減があり、素早く少しだけばらす場合、大袈裟に指一本ずつばらす場合、その中間などがある

一本一本ばらばらに抜けていくイメージ

最後に人差し指が抜ける

ばらしを使った練習 → シクリアーダ

9 Ch あり DVD　10 Ch なし DVD

【練習曲】フロール・デ・カクトゥス（サボテンの花）

1. シクリアーダとはシーク（サンポーニャ）の音楽で、サンポーニャ独特のコンテスタード奏法で演奏されます。

2. コンテスタード奏法とは二組に分かれ、一方はドミソシレファ～の管を持ち、もう一方がレファラドミソ～の管を持って、メロディーの中で自分が担当する音の時にだけ吹くことで、両担当者で合わせて一つの曲を演奏する奏法です。

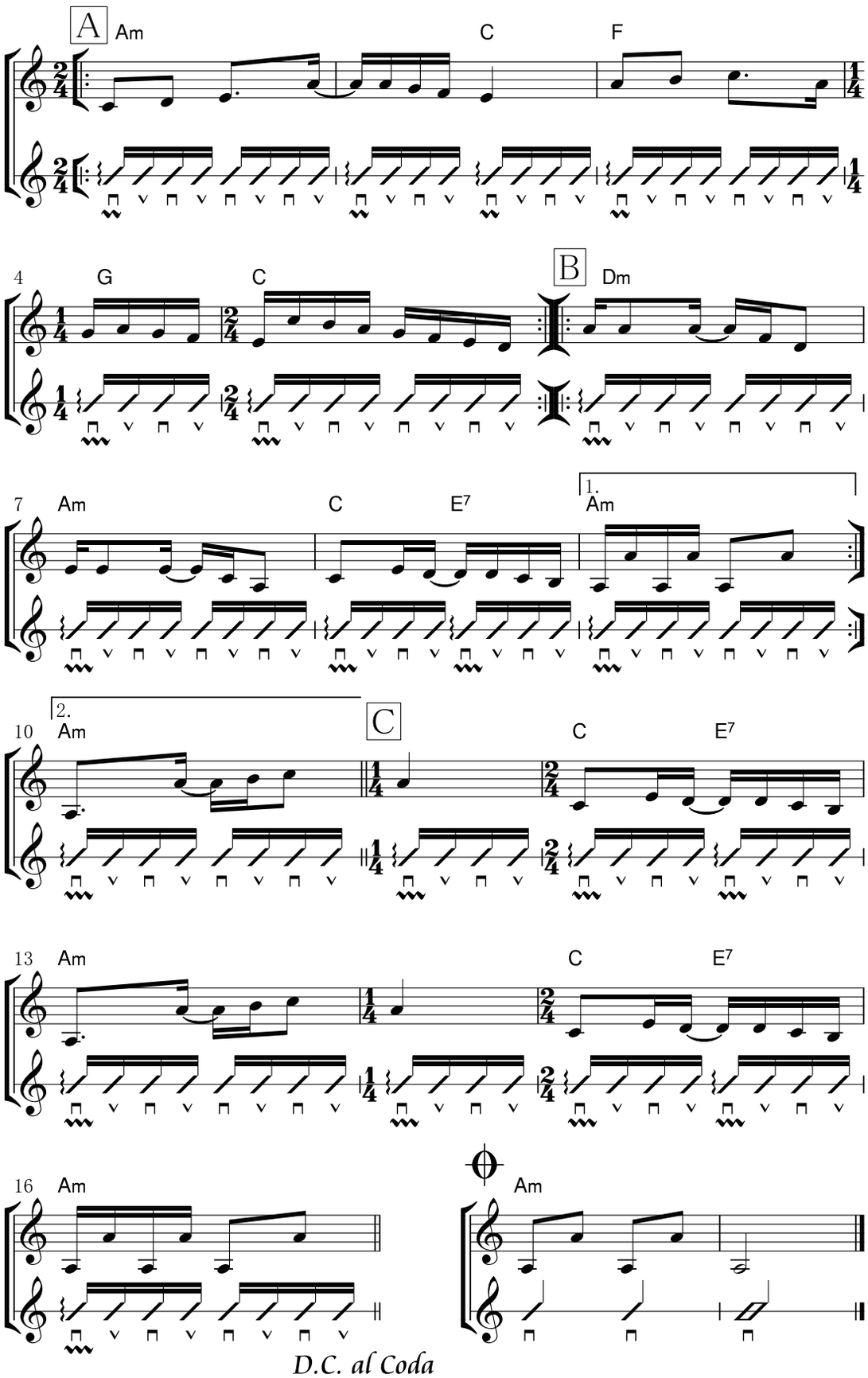
3. 本来は弦楽器が入らない音楽です。メロディーを追いかけながらボンボが強拍を打つタイミングでばらしを入れると雰囲気が出ます。

4. 頻繁にばらしが入りますが周期性ではなく、メロディーに合わせて入れていくので先にメロディーを覚えてしまった方がやりやすいです。

5. 練習曲は伝承曲のフロール・デ・カクトゥス（サボテンの花）を演奏してみましょう。

Flor de Kactus

(Sikuriada / Am)

Sicuriada ♩ = 124

作曲：ボリビア伝承曲